

学校教育目標

よりよく生きる

南中学校

電話 982-1066

さわやか相談室

電話 981-8749

学校だより



吉川市立南中学校

吉川市立
南中学校

Minami Junior High School



生徒数

第1学年 302名

第2学年 283名

第3学年 314名

計 899名

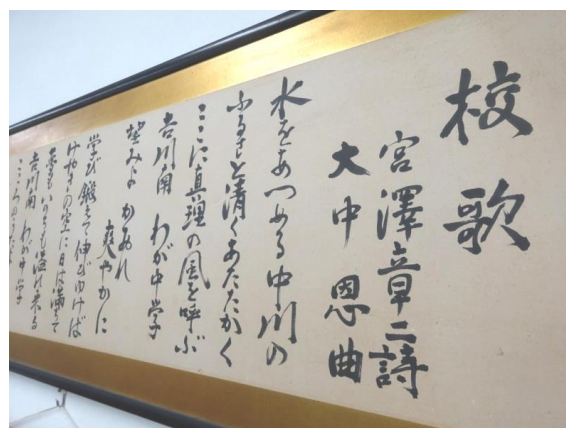
南中学校ホームページ

<http://02.yoshikawa-ed.net/minami/>

校歌に託された思い

校長 田口 弘

南中に手紙が届きました。校歌の作曲者、大中 恩（おなかめぐみ）さんと親交があり東京都在住の川原田さんからです。校歌が出来て間もない昭和40年代、南中の生徒だった川原田さんは、校歌の伴奏を任せられピアノを懸命に練習しました。以来、作曲者のことが気になっていました。その後、南中の校歌が縁で親交を深めているのです。その大中さんの記事が新聞に連載されるので生徒さんに紹介して欲しいとのことでした。そして川原田さんは、今もなお校歌が歌い継がれていることへの懐かしさや、南中への思いをもっているとの手紙です。



▲校長室に掲示されている 宮澤章二さん直筆の校歌



▲読売新聞連載を知らせる記事

南中の校歌の作詞をした宮澤章二さんにたのまれ、曲をつけることになったそうです。

そして、宮澤章二さんもやはり日本を代表する作詞家です。「行為の意味」はあまりに有名です。「こころはだれにも見えないけれど、こころづかいは見える、思いはだれにも見えないけれど、思いやりは見える…」その宮澤章二さんから校歌が完成した昭和44年、詩に託した思いを伝える手紙が南中に届きました。♪けやきの空に日は満ちて 夢も命も溢れ来る…「けやきは風に吹かれ雨に耐えながら、一日として成長をやめません。絶えず伸びようとする強い意志であり、たゆむことない努力です。樹木から感じ取るその気迫は人間もおなじ。精一杯努力を重ねるならば、太陽はほほえみかけてくれるのです。樹木に絶望がないように人間にも絶望はないのです…」と綴られています。

日本を代表する作詞・作曲家の思いが詰まった校歌。母校の歌を生涯心に留め大切にしている卒業生。かくも、たくさんの人々の期待や思いが託された南中学校。そんな学校の今を作るのは私たち。よりよい南中学校にしていきたい。



▲宮澤章二さん